

大学女性協会東京支部

2013.3
第53号

- ・新しいメンバーで新しい東京支部委員会を！
- ・東京支部国内奨学金チャレンジ奨学生決定
- ・東京支部総会のお知らせ（4月20日(土)）

新しいメンバーで
新しい東京支部委員会を！



東京支部長 小澤 紀子

「ともしび」が創刊されたのは1987年1月でした。創刊号には、財務との共催バス旅行、講座も、学卒後の若いひとへ大学教育や職業との関連などを尋ねる意識調査とセミナー発表、クライストチャーチでのIFUW総会紀行文、本部からすべての行事への協力に対する感謝文などの記事が掲載されています。そして最後にはこの1年だけで42名の新入会員があったことを伝えていきます。この新入会員の数からだけでなく、当時の東京支部の活気がうかがえます。

1987年当時は女性の社会進出はぼつぼつでした。気がつけばいつの間にか女性が学卒時に就活するのは当たり前、保育園増設を権利として要求し、女性管理職が生まれたとマスコミで紹介されるもやがてニ

ユースバリエーションはなくなり、看護婦から看護師へ、また男性による介護も登場する世になっておりました。税法上の3号妻は家庭内での発言・実行力や社会活動力が大きくなり、行動方向は多様になりました。

JA UWの高い目標に向かって、以前なら会員は一本にまとまったでしょう。しかし現在では、基本的には理念に賛同しつつも、多様な行動選択肢の中からJA UWの委員としての活動を選択するのは困難な状況にあると言えるかもしれません。これは世界的な傾向です。けれども見方を変えれば、限られた任期内ならば手伝うのは可能であるという状況なのではないでしょうか。

現在の支部役員と委員は、2014年春の任期満了時で、長い人で10年間短い人でも6年間委員を続けています。3年前の任期終了時には、委員たちはやむを得ず任期を延長し、支部存続のために次期委員を決めるまでと、それぞれが無理を押して引き受けました。そして1年前に同じ状態の中で再度任期を延長しました。14年度以降はぜひ新たな陣容で出発することを期待したい。ここにそれを強く提案します。現委員会は責任を十二分に果たし

たと自負しております。東京支部を支えるのは全会員です。これから皆さまへご協力を仰ぐべく声をかけたいしますので、よろしくお願い申し上げます。

事業報告・予定

- 9・13 東京支部国際奨学金送金
ジェニリン・ヌガイさん
(在フィリピン)
 - 9・22 講演会「国連と私たち」
講師 房野 桂氏
神奈川支部と共催
 - 10・14 JA UW主催シンポジウム
於・日本女子大学
新泉山館
 - 11・20 東京スカイツリー見学会
「ソラマチで食事をして
スカイツリーにのぼろう」
 - 2013年
 - 1・12 新春のつどい
国内奨学金贈呈式
 - 2・13 東京支部チャレンジ奨学金
奨学生決定
中村未樹さん
お茶の水女子大学3年生
 - 3・21 東京支部会報「ともしび」
第53号発行
 - 4・20 東京支部総会
古典芸能を学ぶ会
於・田町「牡丹」
 - 7・2
- *新たな企画は、その都度お知らせいたします。

東京支部主催

〈東京スカイツリー見学会〉

(12・11・20)

坂井 英子

東京スカイツリー見学会「ソラマチで食事をしてスカイツリーにのぼろう」という大学女性協会東京支部主催に25名が参加。

半蔵門・東武線・都営浅草線の交わる押上駅に11時集合、係に先導され「東京ソラマチ」30Fのレストラン「イザール・シユウ・チエロ」に行く。そこは新感覚のイタリアンで窓際の席が用意されていた。見晴しもよかった。

小澤紀子東京支部長の挨拶があり、企画と準備をしてくださった方々に感謝しつつ和気藹々のうちに食事、日頃会う機会の少ない会友との話もはずみ、料理も美味であった。

2時いよいよスカイツリーへ

スカイツリーは世界一の高さ634mを誇る自立式電波塔としてギネスブックにも認定された。色は日本の伝統色である「藍白」をベースにしたオリジナルカラーで白磁のような青みがかった白。また地震・強風対策として中央の柱と鉄骨部分を分離し、おもりの役目とする五重の塔の心柱に似ているので

「心柱制震」

といわれ、最新の技術の中に古い技術が取り入れられていることは興味深い。日本最速の分速600mのエレベーターで展望デッキに行く。展望デッキからは東京湾・お台

場・東京タワー・国技館・富士山・新宿・東京ドーム・上野・浅草まで展望することができた。フロア340にはガラス床・フロア345にはスカイツリーSHOP・レストラン、フロア350には「江戸一目図屏風」「東京時空ナビ」がある。

フロア350から展望回廊へフロア445からフロア450まで約110m続くスロープ状の回廊を歩く。空中散歩の感がある。音響演出もありソラカラポイントでの浮遊感

は地上で味わうことのできない宇宙観が変わるような貴重な経験であった。

新しき未来輝くスカイツリー。



◇スカイツリー予約奮闘記◇

スカイツリー見学会の開催に向け、支部委員一同FAXを送り続けて一週間、漸く仮予約が取れました。半年後の開催日まで、真夜中の予約確認も含め4回のFAXのやり取り、昼食の予

第2回 東京支部会員 寄稿コーナー

女性新卒者にむけて

「記述力」習得の支援を

進士多佳子

昨年の全国学力調査で、中学理科の記述問題の解答率が僅か8%弱とのこと。穴埋め式の解答はできてもセンテンスで答えるものに弱いのです。これは国語力の範疇といえます。

平成20年度の国語学習指導要領には記述力の強化が記されていますので、これからの小中学生は安心ですが、問題は現在のおとなの記述力です。

私の関心の発端はビジネスパーソンの発表力と記述力の差でした。企業の会議では自信をもって堂々と発表できるにもかかわらず、いざ文章化となると、然るべき順序で白い紙に書き出せない人が多いのです。

その後調べていくと、国語教育での日本語の「段落」と英語の「パラグラフ」との違いにたどり着きました。

約も数日かかり、繋がらない電話に振り回された見学会でした。その甲斐もあり、当日は快晴の暖かな日で、参加された皆様にスカイツリーからの風景を楽しんでいただきました。

(今村)

た。英文学者の外山滋比古氏は、日本語の段落は見かけ上の「形式段落」であり、英語のパラグラフは意味やアイデアを完結する「意味段落」と示しています。パラグラフ・ライティングは、はじめにトピック文、次に主題をサポートする文、最後に結論文、という相手に明快に伝える文章技法です。欧米では多くの小学校の低学年から演習させられるのに比べ、日本ではその訓練を受けていないことが、いくつかの文献からわかりました。

習わなかった彼らのせいにはできません。しかし、多様性が進む社会では、簡明なコミュニケーションが必要となります。対面でもより文章で会話が成立する時代、改めて、ビジネスにおける「書いて伝える」国語力を鍛えることが求められます。文章力に関しては、男女の格差はなく平等です。たとえば、新卒の女性を中心に、その技法習得を支援するものよいのではないのでしょうか。企業勤務体験のある新会員として、提案させていただきたいと思っています。

東京支部 国内奨学金

『チャレンジ奨学生決定』

東京支部は昨年、新たに国内奨学金事業としてチャレンジ奨学金制度を立ち上げました。チャレンジ奨学金は、就労経験をした後に再度学生となる女性を対象です。さまざまな事情でやむを得ず職を退いたのち、再び社会に戻ろうとする女性の勉学を支援することが目的です。

そのチャレンジ奨学金の2012年度奨学生として、お茶の水女子大学文学部言語文化学科仏語圏言語文化コース3年に在籍する中村未樹さん（37歳）が選考されました。

中村さんが勤務していた企業では業務内容についての研修や教育システムが充実していたものの、企業の統合やグローバル化によって社内情報媒体が多様化し、従来の教育システムでは知識や情報に格差が生まれました。これにより社内での意思疎通が難しくなり結果的に経営の悪化を招きました。この経験から、言語や文化背景の異なる人々との情報共有の重要性、その情報共有を円滑に行うための言語伝達方法、そして伝

達スキルの教育について学ぶ必要性を中村さんは痛感しました。現在お茶の水女子大学において、移民労働者を多く抱えるフランスが直面するさまざまな問題や課題について研究しています。他国に比べ文化的同化圧力の強いフランスの事例を考察し、その成果を日本語の教育支援活動にも生かしたいという希望を持っています。

チャレンジ奨学金がその実践のための一助になれば大変嬉しく思います。来る4月20日の支部総会で奨学金贈呈式を行います。ぜひ総会にご出席いただいて、心からの激励を送りくださいますようお願いいたします。

東京支部 国際奨学金

昨年12月に国際奨学生のカルメラさんとジェニリンさんより（下のような）可愛いクリスマスカードが届きました。内容をかいつまんでご紹介します。

カルメラさん

―皆様にご挨拶の手紙を書く機会を持てたことを嬉しく思います。この奨学金のサポートで私が勉強でき



ることがどんなに幸せか、一言では言い表せません。皆様の支援があることを神に感謝しています。皆様お一人お一人を神が導きくださりお守りくださることを、そして皆さまの組織がさらに発展することを神にお祈りいたします。―

ジェニリンさん

―私の勉学を全面的にサポートしていただき、本当にありがとうございます。奨学生に選んでいただいたことを心から感謝し、一生懸命勉強することを誓いいたします。「サクラ」というタイトルの楽譜を送っていただきました（支部長が「さくらさくら」の楽譜と桜の写真を送

りました）。どのように唄ったらいのかわかりませんが、理解できるような練習いたします。皆さまのような支援者を得たことを毎夜神に感謝しています。いつかお会いしたいです。―

今年6月の新学期を迎えて、カルメラさんはいよいよ最終学年、ジェニリンさんは2年生になります。

カルメラさんは現在、ジェネラル・サントス市の学校で教育実習中とのこと。将来はよいリーダー、教育者になりそうだという報告をいただいています。ジェニリンさんからは元気で勉強に励んでいるという手紙が最近届きました。



最近のカルメラさん

厳しい環境のなか、それぞれ自立を目指して頑張っているようです。これからもしっかりと勉学に励めるよう応援していきたいと思います。

源氏物語を読む

粗末な日常のすぐ横のドアを開くと、私には源氏物語という豪華な部屋があります。時々日常に戻り忘れ、夕食がバックカレールーになります。12歳の時に祖父から譲られた源氏物語を、自分で読んでみたいと国文科に進み、いまだにドアの向こうの部屋に入り浸っています。

国宝源氏物語絵巻に、一人の女性が物語を読み、数人が絵を見ながら聞いている場面があります。源氏物語は、一人で読むより、音読しながら感性や知識を寄せ合ってグルーブで読む方が、当時の読み方に近いかも知れません。

ただ、千年前の膨大な、しかも内容は高度なこの物語を読むには、それなりの労力が必要です。今までに読み終えたハク拉斯は、みな七百時間はかかりました。この時間は、私たちが源氏物語に少しでも近づいたための修行の時間だと思っています。最初

は理解しがたかった世界に、皆さんいつの間にかすっと入っていく自分を発見されるようです。その頃には「やはり、源氏は原文で読まない」と呟かれるようになり、講師の私にとっても嬉しい瞬間です。なかなか一人では読めない物語を、10年以上かけ励ましあいながら読み終えた時、皆さん大きな宝物を手にしたように誇らしげです。

物語の女君たちは、置かれた境遇の中で、じつと凝縮された想いを、和歌で培った言葉で洗練させ、自分の生き方を紡ぎ出しています。政治の表舞台には立ちませんが、実は時代を支え動かしてきえるようです。「21世紀の女性たちよ、自分をしっかりと見つめて生きていますか」と、物語は問いかけてきます。

サークル「源氏物語を読む会」講師

坂上栄美子

シチズン・オブ・ザ・イヤー

ルダシグワ真美さん受賞

ルダシグワ在住のルダシグワ真美さんは、大虐殺後の当地で、障害者のために義足を製作し、それを無償で提供する活動を続けておられます。真美さんには、東京支部の講演会で講師を務めてもらったり、東京支部が立ち上げた国際奨学金の第一期生のダイアナさんを推薦してもらったりと、東京支部と少なからずご縁がありますので、真美さんをご記憶の方もいるかと思っています。

その真美さんが、12年度のシチズン・オブ・ザ・イヤーに選ばれ、授賞式が、1月末にパレスホテルで行われました。シチズン・オブ・ザ・イヤーは、シチズンホールディングス



CITIZEN 2012年度 シチズン・オブ・ザ・イヤー表彰式
主催 シチズンホールディングス株式会社

スの主催で、前年の新聞記事の中からもっとも感動を与えた認められた3人に与えられる賞です。ちなみに、選考委員は元NHKアナウンサーの山根基世氏や、主要新聞社の社会部長を務めておられる方々です。

真美さんの活動は、単に障害者に義足を提供するだけでなく、障害者が独り立ちできるように、手に職を付けるような技術指導をしたり、パラリンピックに選手を送り出すための支援をしたりと、障害者を取り巻く環境を改善するために尽力されたその姿勢が、今回の賞に結びついたのだと思います。

私も表彰式に同席させていただき、同時に受賞されたお2人の方の活動報告も聞き、大きな感動をいただきました。(鈴川)

東京支部国際奨学生 2013年度募集

問い合わせ先
(一社) 大学女性協会
東京支部国際奨学金係

TEL 03-3358-2882
FAX 03-3358-2889
E-mail: jauw@jauw.org

ご推薦やご紹介お待ちしております!

お知らせ

落語の笑いを一緒に

平成25年度東京支部活動の一環として、「古典芸能を学ぶ会」を立案し、昼食付き落語鑑賞会を企画いたしました。皆さまも日曜日の夕方に放映されております某落語番組を一度はご覧になったことがありかと存じますが、日頃テレビやその他のメディアで落語を聴く機会はあるもののライブで聴くことはそう多くはない気がいたします。落語は江戸時代に成立し現在まで傳承されている日本古典芸能のひとつです。この機会に日本の伝統芸能である落語をぜひお楽しみください。咄家は文化芸術祭大衆部門で新人賞を受賞した四代目隅田川馬石を予定しております。

当日は落語の他に落語の楽しみ方等、落語に関わるお話もしていただきます。会場は田町にある料亭「牡丹」です。洗練された日本料理の懐石弁当も充分お楽しみいただけることと思います。

日程は7月2日です。会員の皆さまが多数ご参加くださいますようお願いいたします。

「新春の雅楽」を鑑賞して

(13・1・27)

本部事業委員会の手配で東京オペラシティコンサートホールでの東京楽所による雅楽と舞楽を楽しみました。

かねがね雅楽の生演奏を聞きたいと思っていたので私にとつてはチャンス到来と早速に参加しました。

一般公開される機会が少ない、千数百年にわたり継承されてきた文化であり伝統音楽に、ステージは完全に平安時代にタイムスリップ。素朴で単純ながら雅びで洗練された音色はのどかでいやされます。日本版ヒーリングそのものでした。たくさんの方たちに鑑賞して欲しいと思います。

次回は7月7日。七夕の雅楽が予定されています。(芦澤)



東京支部委員会の委員を募集中!

毎月(8月は夏休み)第2水曜日に委員会があります。会員の皆様のご参加、ご協力をぜひお願い申し上げます。

本部事業委員会からのお知らせ

多くの会員と出会い親睦を深めるためにJAUW事業委員会のスケジュールをお知らせいたします。会員の輪が広がりますようご協力をお願いいたします。

○お花見へのお誘い

4月8日(月) 小石川植物園

○トルコの文化に親しむ会

4月22日(月)

共催・国際委員会

○能・狂言(能普及公演)

5月11日(土) 国立能楽堂

○文楽(一谷嫩軍記・曾根崎心中)

5月24日(金) 国立小劇場

○コンサート(フルートとピアノ)

6月15日(土) 求道会館

○雅楽(七夕の雅楽)

7月7日(日)

東京オペラシティ

コンサートホール

○パザール

事務所での販売は常時。

東京支部総会、定時会員総会、新春のつどい、にて開催。

※新たな計画、詳細については別途に順次お知らせいたします。

東京支部がご招待

2012年度国際奨学生2名を

「新春のつどい」に

今春の1月12日(土)に京王プラザホテルの「扇」の間で開催された。新春のつどい。に、工学院大学八王子キャンパスに滞在中のエレナ・ギナチエリナさん(ウズベキスタン出身(写真))と国立感染症研究所(東京)で研究中的ナランハジット・ミヤダグスレンさん(モンゴル出身(写真))のお二人をお招きしました。

なごやかな雰囲気の中、楽しそうな様子でした。多くの日本人と出会い、たくさんの方の経験を通して日本をしっかりと学び理解して欲しいと願っています。



2013年
東京支部総会のお知らせ

四月二十日(土)

津田ホール一階会議室

午後一時～四時

- ・東京支部チャレンジ奨学金贈呈式
- ・東京支部総会
- ・懇話会・東京支部委員会の

(お茶とお菓子の用意があります)

*

東京支部チャレンジ奨学金は、
2012年度に新たに設けられた
東京支部の国内奨学金制度です。
この度、第1回奨学生が決定いた
しましたので、支部総会時に奨学
金贈呈式を行います。

*

例年開催しておりました総会記念
講演会を取りやめ、代わりに懇話
会を開催することになりました。
支部委員会の現状を皆様にご理解
いただき、今後を一緒に考えて
いただきたいと思います。

*

万障お繰り合わせのうえ、ご出席
くださいますようお願い申し上げます。
ます。

サークル案内

★源氏物語を読む会 (I)

・第一水曜日

午前十時半～十二時

- ・津田塾大学同窓会・会議室
- ・講師・坂上栄美子会員
- ・連絡先・堀内洋子

(☎〇四五・九八三・四六八〇)

★源氏物語を読む会 (II)

・第三・第四火曜日

午前十時半～十二時

- ・津田塾大学同窓会・会議室
- ・講師・坂上栄美子会員
- ・連絡先・中山律子

(☎〇三・三三三・六四六二八)

「桐壺」から再読しています。

★源氏物語を読む会 (III)

・第二・第三水曜日

午前十時半～十二時

- ・津田塾大学同窓会・会議室
- ・講師・坂上栄美子会員
- ・連絡先・小池朋子

(☎〇四五・九〇二・九七三〇)

★水墨画教室

・第二木曜日 午後一時半～三時半

- ・JAUW事務所会議室
- ・講師・日高絹子(絹紅) 会員
- ・初心者歓迎
- ・若干名余裕があります。
- ・連絡先・森川淳子

(☎〇四五・五八三・三四三〇)

2012年度東京支部新入会員

氏名 出身校 (敬称略)

岡部 啓子 茶

柏森 公子 I・C・U

進士 多佳子 立教・院

樋口 佳子 福女

山下 玲子 京府短大

渡部 徳子 東京・院

お悔やみ申し上げます (敬称略)

根岸 愛子

2012年9月28日 ご逝去

★ご寄付いただきました。ありがと
うございました。

源氏物語を読む会 I

源氏物語を読む会 II

水墨画教室

一万円
二万円
五千円

大学女性協会のロゴマーク

「桂のリースに囲まれた灯火」

会報246号の阿

部会長の記事にあり

ますように、1954

年に会員章として制

定されたJAUWの

シンボルマーク「桂のリースに囲ま

れた灯火」を、理事会では一般社団

法人としてのスタートに際しロゴ

マークとして決定し、JAUWの紹

介リーフレットの表紙、レターヘッ

ド、セミナー等の報告書などに使用

することになりました。原版を作成

し、レターヘッドと封筒のセットも

用意し、お分けしております。

(JAUW副会長 牧島悠美子)



◆住所等ご変更の場合は、事務所ま

でお知らせください。

◆使用済みの切手を事務所までお送

りください。

◆会費未納の方は、用紙の「振込み

のご案内」を参照の上、どうぞお

早めにお振込みくださいますよう

お願い申し上げます。

(編集後記)

二年経っても東日本大震災の復興
はまだまだで、辛い日々の中、私た
ちは何ができるか、思いを深くす
この頃です。(A・O・H・S・H)